



い き い き

小 富 士 っ 子



R 6 学校便り No21

令和 7. 2. 2 6

四国中央市立  
小富士小学校



## 桃の節句

テレビなどで雛飾りを目にする機会が増えました。

3月3日は**桃の節句**であり、**雛祭り**を行う家庭も多いのではないのでしょうか。**雛祭り**は雛人形を飾り女の子の健やかな成長を願う伝統行事として行われていました。雛人形は雨水から啓蟄までの期間（今年は2月19日～

3月5日）に飾るのが慣習とされていたようです。そのため、3月3日は女の子の日として認識している人も多いようです。一方、5月5日は**端午の節句**であり、男の子の健やかな成長を願う行事が残っていますが、今は「こどもの日」でもあるため男女の区別なく子どもをお祝いする日です。私が幼少の頃は「男の子の日だけ休みで、ずるい」と女子は言っていたように記憶していますが、今では「女の子の日だけあって、ずるい」と男子が言っている場面も見かけます。時代とともに、**端午の節句**の捉え方も変化してきています。近年、**桃の節句**も男女の区別なく行事が行われるようになってきており、喜ばしいことです。土居中学校では「**男女別制服で悩んでいる仲間がいるかもしれない。**」との生徒の声から、LGBTQへの配慮や防寒対策など機能性を重視した性別を問わないデザインの標準服へと2023年度から変更しました。（これまでの標準服の着用も許可されています。）小富士小学校では、かつて児童名簿は男女別でしたが、現在は男女混合名簿になっています。体操服はずいぶん前から全児童共通です。持ち物の性別を分けた色指定もしていません。このように、**学校における不必要な男女の区別は解消されつつあり、ジェンダーレス化やジェンダーフリー化は進んでいます。**しかしながら、性別に関わる課題は依然として多く残されていると認識しています。簡単に変えられないこともあります。全ての児童が学校生活を円滑に送れるよう、見直すべき点は見直し、様々な配慮ができる環境を整え、性的マイノリティ等に関する学習も進めていきたいと思えます。私たち教職員も性的マイノリティ等に関する研修の機会を設け、理解を深めていきたいと考えています。皆さんも一緒に考えてみませんか。先日、トランプ米大統領が「性別は男女の二つのみとする」と述べました。生物学的にはそうなのかもしれませんが、それしか認めないとはいかがなものでしょうか。暗殺未遂事件時に「神様から選ばれた」と述べていたトランプ氏が、主教（聖職者）から「慈悲の心を持つように」と諭され反発したことに失望したのは私だけでしょうか。これらのことから、私は改めて人権について深く考えさせられました。

## 西田敏行さんを偲んで

先日、俳優の西田敏行さんがご逝去されました。西田さんは、西遊記の猪八戒や釣りバカ日誌の浜崎伝助（浜ちゃん）など、映画やドラマで数多くの役を演じられ、番組MCや歌手としても活躍するなど、多岐にわたり才能を発揮された方でした。私が最も印象深く覚えているのは、ライオンのルック洗剤のCMで西田敏行さんが発した「今やろうと思ったのに言うんだもんねあ～」というフレーズです。なぜ母は、私が今やろうと思っていたことを、まるでタイミングを見計らったかのように「やりなさい」と声掛けしてくるのだろうか、そして、西田敏行さんのCMのように「今やろうと思ったのに～」と子どもの頃よく思ったものです。親になった今では、母の気持ちも理解できます。しかし、子どもの頃を思い出してみると、子どもが自らやる気になるまで、少し待つてあげることも大切なのではないかと思います。改めて、西田さんから大切なことを教わりました。心よりご冥福をお祈りいたします。

ホームページもご覧ください。 <https://kofuji-e.esnet.ed.jp/>